

西牧大使による国営テレビ局（NBC1）のテレビ番組「Eye on SADC」への出演 （令和6年3月11日）

2024/3/11

3月11日、西牧大使が国営放送（NBC）の生放送のテレビ番組「Eye on SADC」に出演しました。西牧大使はインタビュー番組の中で、日本とナミビアの二国間関係、特に農業開発、物流・運輸セクターについて説明しました。

西牧大使は、現在日本政府がナミビア農業・水・土地改革省及び国際連合食糧農業機関（FAO）とのパートナーシップで実施しているプロジェクトについて紹介し、日本政府がナミビアの農業と食糧生産の発展のために地元農家の能力の向上を支援していることや、ナミビア農業・水・土地改革省の農業普及員の能力強化に貢献していることを紹介しました。また、西牧大使は、日本政府は2022年からの過去2年間、FAOのプロジェクトを通じてナミビアの農家のために2,600万ナミビアドル以上の資金を提供している点や、2024年度に実施される新たな支援が間もなくメディアから発表される予定であることについても説明しました。

さらに西牧大使は、日本政府はナミビアが南部アフリカの物流ハブとなる夢を実現するための支援にも携わっており、国際協力機構（JICA）が実施している「ナミビアのSADC諸国向けウォルビスベイ国際物流ハブ開発基本計画」の策定における技術協力が、今日のウォルビスベイのコンテナターミナルの発展への道を開いたことについて説明しました。

Eye on SADCは、SADC加盟国に影響を与えるニュースを扱う新しいテレビ番組で、ナミビアでは月曜から金曜まで、NBCの1チャンネルで13:30から生放送されています。



日・ナミビアの技術協力によって開発された「オゴンゴ米」を紹介する西牧大使（右）



西牧大使（右）とEye on SADC司会のシタタラ氏（左）